

明大と連携 町のガイド養成

黒曜石の星糞峠や和田宿案内

長和

小県郡長和町は六月から、黒曜石研究などで連携している明治大学と共同で、町内の史跡や博物館を案内するボランティアを養成する講座を始める。明大文学部の教授らが町を訪れて黒曜石や中山道の歴史について講義するほか、明大出身の俳優、原田大二郎さんが発声などを指導する。町は退職した団塊世代などの参加に期待している。

町内には、全国有数の黒曜石の産地として知られる星糞峠や和田峠のほか、旧中山道の和田宿、長久保宿などの史跡がある。町教育委員会は「観光客のガイドは学芸員や町教委の職員だけ

6月から講座 歴史講義や発声指導

では足りない。ボランティアにも協力してほしい」と話している。

講義は六月から十一月までの全十九回。「黒曜石と長和町」「中山道と長和町」などの基礎から始まり、「文化財の保存と活用」「博物館とボランティア」といった実践的な内容に移っていく。黒曜石の産地や和田宿などの見学もする。原田さんが担当する講義では、本の朗読を通じて声の出し方などを学ぶ。修了者には証書を渡す。受講者は五月から募集する。

この事業は、文部科学省の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択された。明大エクステンショングループは「長和町の活性化に貢献したい」としている。